

## 環境マネジメント活動－脱炭素社会の実現に向けて

# サプライチェーン排出量

DNPにおけるサプライチェーン排出量のうち、原材料調達段階（Scope3 カテゴリ1）の排出量が全体の約半分を占めています。

サプライチェーン排出量削減に向けて、サプライヤー説明会やアンケート、直接の面談等により、取り組み等を共有、協議することで、サプライヤーの皆様と協力して推進しています。

単位：千トン-CO<sub>2</sub>

	2020年度	2021年度	2022年度
Scope 1 排出量	227	236	215
Scope 2 排出量	610	565	548
Scope 3 排出量	4,260	4,240	4,370
サプライチェーン排出量	5,100	5,040	5,130

### Scope 3 排出量内訳

カテゴリ	2020年度	2021年度	2022年度
カテゴリ 1 購入した製品・サービス	2,720	2,700	2,750
カテゴリ 2 資本財	150	92	160
カテゴリ 3 Scope 1・2に含まれない燃料およびエネルギー活動	130	140	130
カテゴリ 4 輸送、配送（上流）	150	180	170
カテゴリ 5 事業から出る廃棄物	61	29	27
カテゴリ 6 出張	4	4	8
カテゴリ 7 雇用者の通勤	15	17	24
カテゴリ 8 リース資産（上流）	—	—	—
カテゴリ 9 輸送、配送（下流）	570	620	620
カテゴリ 10 販売した製品の加工	—	—	—
カテゴリ 11 販売した製品の使用	7	11	12
カテゴリ 12 販売した製品の廃棄	450	450	460
カテゴリ 13 リース資産（下流）	—	—	—
カテゴリ 14 フランチャイズ	—	—	—
カテゴリ 15 投資	6	6	4

### 【算定方法】

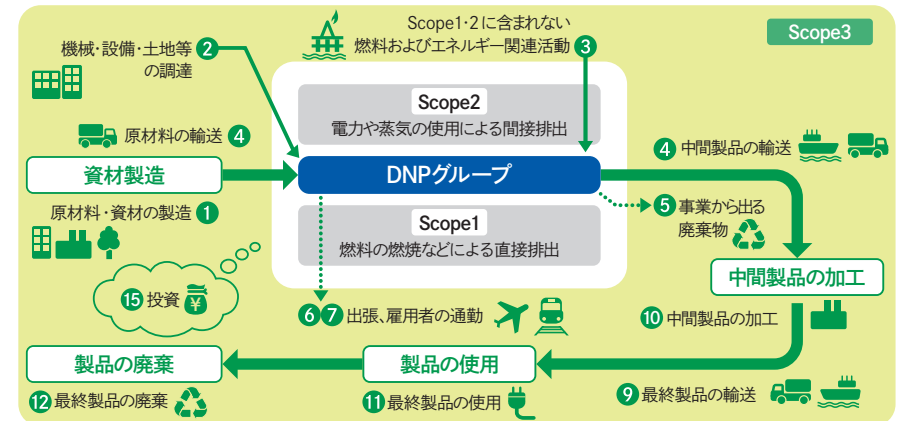
環境省・経済産業省が定めたGHG排出量の算定方法に関するガイドライン「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer3.3」に準拠し算定。

- ・グループ企業の輸送にともなうScope1排出量はカテゴリ4に含める
- ・カテゴリ8はScope1・2に含める。カテゴリ10は最終製品の構成割合が微小なため、算定除外。
- ・カテゴリ11は国内のPETボトル飲料由来の排出量のみを算定
- ・カテゴリ13・14は非該当

2021年度より、IDEAの原単位を使用して算定。（2022年度は「IDEA Ver.3.3」）

### 【算定範囲】

主要国内拠点（北海道コカ・コーラボラックスおよび書店グループ等は除く）および海外主要サイト（PT DNP Indonesia, DNP Imagingcomm America Corporation, DNP Imagingcomm Asia Sdn.Bhd.）



### ● サプライチェーン排出量

